

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の 作付予定面積等		令和5年度の 作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	4.13	0.00	4.13	0.00	4.13	0.00
備蓄米	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
飼料用米	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
米粉用米	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
新市場開拓用米	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
WCS用稲	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00
加工用米	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
麦	372.21	0.00	358.12	0.00	358.12	0.00
大豆	62.45	0.00	62.88	0.00	63.78	0.00
飼料作物	283.06	0.00	284.98	0.00	289.09	0.00
・子実用とうもろこし	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
そば	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
なたね	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
地力増進作物	0.00	0.00	1.52	0.00	1.55	0.00
高収益作物	60.45	0.00	63.44	0.00	69.91	0.00
・野菜	60.43	0.00	63.34	0.00	69.80	0.00
・花き・花木	0.02	0.00	0.10	0.00	0.11	0.00
・果樹	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
・その他の高収益作物	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他	426.46	0.00	417.80	0.00	411.63	0.00
・てん菜	163.98	0.00	166.98	0.00	166.98	0.00
・小豆	136.11	0.00	118.66	0.00	118.66	0.00
・菜豆	111.83	0.00	107.38	0.00	107.38	0.00
・澱粉原料用馬鈴薯	13.50	0.00	23.74	0.00	17.57	0.00
・その他	1.04	0.00	1.04	0.00	1.04	0.00
畑地化	0.00	0.00	15.89	0.00	10.55	0.00

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	小麦	生産性・ 品質向上助成(小麦)	製品反収 作付面積	(3年度) 707kg/10a (3年度) 37,221a	(5年度) 714kg/10a (5年度) 35,812a
2	小豆	生産性・ 品質向上助成(小豆)	製品反収 作付面積	(3年度) 224kg/10a (3年度) 13,611a	(5年度) 278kg/10a (5年度) 11,866a
3	菜豆	生産性・ 品質向上助成(菜豆)	製品反収 作付面積	(3年度) 187kg/10a (3年度) 11,183a	(5年度) 258kg/10a (5年度) 10,738a
4	てん菜	生産性・ 品質向上助成(てん菜)	製品反収 作付面積	(3年度) 7,450kg/10a (3年度) 16,398a	(5年度) 7,525kg/10a (5年度) 16,698a
5	馬鈴薯	生産性・ 品質向上助成(馬鈴薯)	製品反収 作付面積	(3年度) 2,759kg/10a (3年度) 2,831a	(5年度) 3,377kg/10a (5年度) 2,758a
6	花き	地域振興作物助成(花 き)	作付面積	(3年度) 2a	(5年度) 12a
7	野菜（馬鈴薯を除く）	地域振興作物助成(野 菜)	作付面積	(3年度) 4,562a	(5年度) 6,101a
8	緑肥（エン麦・デントコー ン ・カラシナ類・ヒマワリ）	地力増進助成(緑肥)	作付面積	(3年度) 0a	(5年度) 473a
9	飼料作物（牧草・えん麦 ・デントコーン等）	飼料作物作付拡大助成	飼料作物反収 作付面積	(3年度) 3,316kg/10a (3年度) 2,961a	(5年度) 3,322kg/10a (5年度) 3,053a

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:北海道

協議会名:池田町農業再生協議会

整理番号	使途 ※1	作期等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	生産性・品質向上助成(小麦)	1	3,150	小麦	輪作体系の導入、湿害対策、生産履歴の作成等
2	生産性・品質向上助成(小豆)	1	31,770	小豆	輪作体系の導入、湿害対策、生産履歴の作成等
3	生産性・品質向上助成(菜豆)	1	31,770	菜豆	輪作体系の導入、湿害対策、生産履歴の作成等
4	生産性・品質向上助成(てん菜)	1	31,770	てん菜	輪作体系の導入、湿害対策、生産履歴の作成等
5	生産性・品質向上助成(馬鈴薯)	1	31,770	馬鈴薯	輪作体系の導入、湿害対策、生産履歴の作成等
6	地域振興作物助成(花き)	1	9,090	花き(トルコギキョウ、デルフィニウム、カラー、ラークスパー、宿根カスミソウ、プレウルム、アストランチャー など)	作付面積に応じて支援
7	地域振興作物助成(野菜(ばれいしょを除く))	1	31,410	野菜(人参、南瓜、ほうれん草、玉葱、スイートコーン、ごぼう、長芋、つくね芋、キヌサヤ、食用ユリ、キャベツ、ヤーコン、ニンニク、アスパラ、西洋わさび、ケール、枝豆、大根、わさび大根、ブロッコリー など)	作付面積に応じて支援
8	地力増進助成(緑肥)	1	19,350	緑肥(エン麦・デントコーン・カラシナ類・ヒマワリ)	対象作物を作付し、ほ場に鋤込む
9	飼料作物作付拡大助成	1	1,260	飼料作物(牧草・えん麦・デントコーン等)	利用供給協定の締結、土壌診断に基づく適正な肥培管理

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。